

自己手配による海外リサーチ・クラークシップについて

本学の海外リサーチ・クラークシップは、所定の手続きを進めることで、公式実習先以外の学生自身が探した実習先での実習も可能です。

別表1の大学公式の実習先以外を希望する学生は、以下の手続きを行い、期日までに申請してください。申請後、学内で検討され、会議での承認が得られると希望実習先での実習が確定となります。希望が叶わない場合は国内でのリサーチ・クラークシップとなりますので、時間に余裕をもって手続きを進めてください。(※切：希望出発年度前年の7月4日まで)
※大学公式の海外リサーチ・クラークシップとの併願はできません。

	タスク	担当	時期
1	希望海外ラボに自身で打診のうえ、内諾 (Letter of Provisional Acceptance) を得ること。その際、別添チェックリスト記載項目についてお伝えし、確認すること	学生⇄海外ラボ	～2024年7月4日
2	医学教育推進課に申請： ① Letter of Provisional Acceptance ②チェックリストの控え ③自己手配によるリサーチ・クラークシップ実施希望届 (海外) ④英文履歴書 (A4で1枚程度/様式自由) ⑤Personal Statement (A4で1枚程度/様式自由) ※④⑤：派遣希望先に提示したものがあれば、そちらを提出 ⑥成績証明書 (和文) ⑦英語のスコア (ある場合) 上記を添付のうえ、自己手配による海外リサクラ希望の旨をメールにて申請 (宛先： ycumedgl@yokohama-cu.ac.jp)	学生→ 医学教育推進課 (医学国際化等担当)	7月4日※切
3	催行の可否を検討。許可の場合、本学窓口教員を選定 ※必要に応じて学生と面談	グローバル推進部門長 基礎部門長	7月中旬
4	学内受入担当教員への依頼	医学教育推進課	7月下旬
5	学内受入担当教員による派遣希望学生との面談	学内受入担当教員	7月下旬～ 9月中旬
6	<u>学内受入担当教員より海外ラボ担当教員</u> への依頼・交渉		
7	海外リサクラ先担当教員及び本学受入担当教員、派遣希望学生との三者面談実施		
8	留学届 (Form) を含む必要書類 (誓約書、パスポートの写し、 <u>有効期間内の英語スコア</u> 、COVID-19 ワクチン接種証明書) の提出	医学教育推進課	9月9日

9	会議での正式承認	医学教育推進課	10月教授会
---	----------	---------	--------

<留意事項>

- (1) 原則、大学、後援会等からの経済的支援はありません。
- (2) 危機管理セミナーへの出席、緊急連絡先の提出、大学指定の保険への加入、事後報告書の提出、報告会での報告など、大学のプログラムに準じた参加者としての義務を果たすこと。
- (3) 出発・帰国日については、原則プログラム期間前後の土・日曜日、または派遣予定先の教員の指示に従うこと。

別表1

大学および研究機関	受入担当教員（派遣先）	受入担当教員（本学）
テンプル大学	江口暁 先生	内分泌・糖尿病内科学 寺内康夫先生
スタンフォード大学	中内啓光 先生	血液・免疫・感染症内科学 中島秀明先生
ウェイン州立大学	浅野英司 先生	神経内科学 田中章景先生
コーネル大学	Ronald G. Crystal 先生	救急医学 竹内一郎先生

【問合せ先】

医学教育推進課医学国際化等担当

ycumedgl@yokohama-cu.ac.jp